

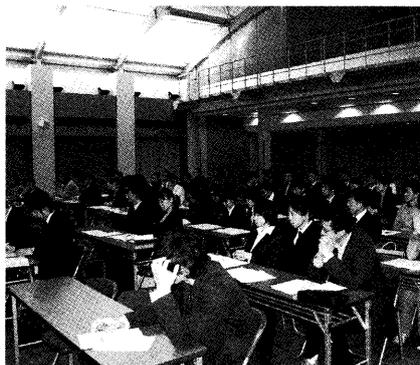
# SUPPORTERS

## サポーターズ

No.121  
2009  
春号

士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 510 名 施設数 94 (2月5日現在)



▲「平成19年度山梨県理学療法士会総会」  
(4月11日)  
甲州リハビリテーション病院大木記念ホールにて開催されました。



▲「平成20年度山梨県理学療法士会交流会」  
(6月6日)  
ベルクラシック甲府にて新入会員64名が参加し、盛大な会となりました。



▲「第1回学術研修会」(6月8日)  
市川 繁之先生をお招きし、「PNFについて」をテーマにご講演していただきました。



▲「臨床実習指導者研修会(山梨)」  
(11月7日～8日)  
内山 靖先生を中心に4人の講師をお招きし、講義とグループディスカッションなどが行われました。



▲「特別研修会」(11月19日)  
半田 一登会長(日本理学療法士協会会長)をお招きし、「今」をテーマにご講演をいただきました。



▲「第12回山梨県理学療法士会学術集会」  
(12月7日)  
渡邊 修先生の特別講演と、35題の演題発表が行われました。

Contents

第46回全国学術研修大会 in Yamanashi  
    ロゴマーク決定…2  
    ロゴマーク採用の知らせを受けて…2  
各部活動報告…3～4  
    甲府国際オープンテニススポーツ理学療法見学会のご案内…4  
平成20年度山梨県理学療法士会活動報告…5

会員のひろば  
    「理学療法士になりたい」…6  
    『山梨富次脳機能障害リハビリテーション講習会に参加して』…6  
お知らせ…7  
リレーエッセイ Part3…8～9  
編集後記…10

「supporters(サポーターズ)」とは・・・

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

# 第46回全国学術研修大会 in Yamanashi ロゴマーク 決定!!

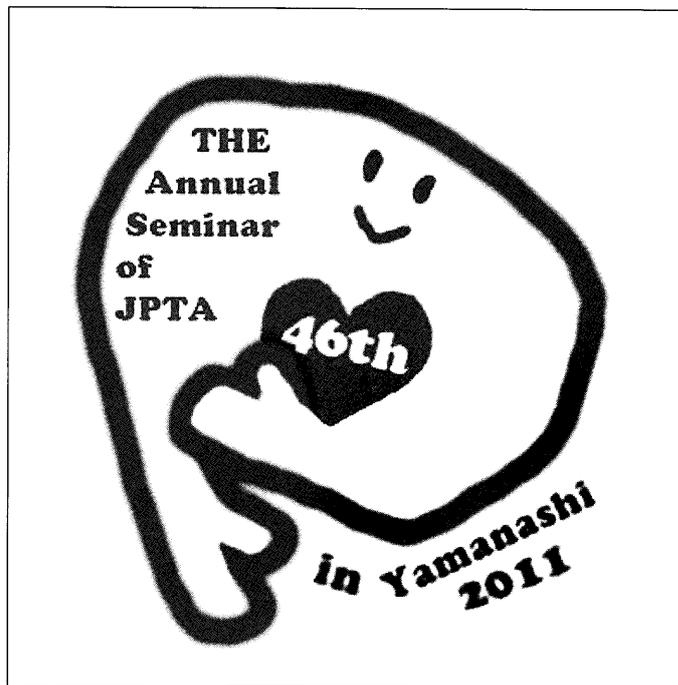
全国学術研修大会のロゴマーク募集には、個人応募12名、士会施設3施設から計31点の応募作品がありました。

全研実行委員会選考の結果、「介護老人保健施設 しおかわ福寿の里 藤波靖幸先生」の作品に決定いたしました。

選考理由のひとつとして、「山梨県の形を模った作品であり、とても親しみやすく、愛着を感じる作品である」ことが挙げられ、採用に至りました。このマークを基に、士会員一丸となって、再来年にひかえた本大会が成功できるよう、今後とも協力の程よろしくお願ひします。

採用された藤波先生には、褒賞を贈呈します。多数のご応募ありがとうございました。

全研実行委員会 広報・渉外局 杉田 隆 信



## ロゴマーク採用の知らせを受けて...

今回は私の（実は長女との共同制作ですが）作品がロゴマークに採用されたとの知らせを受け、驚きと伴に大変光栄に思っています。

山梨県で初めて開催される全国規模の研修会ですので、少しでもお役に立てたらと思い応募させていただきました。デザインは山梨県がハートを抱いているようなイメージにしました。

ハートは、「私たち山梨県の理学療法士は、患者様に寄り添う熱いハートを持っています」という意味合いを持ち、全体の輪郭は親しみやすく、やさしいイメージに仕上がるようばかしてみました。

実行委員会の皆様をはじめ会員が一丸となり、山梨県らしいきめ細かな研修会が開催されますよう願うと伴に、一会員として微力ながらこれからも協力させていただきたいと思ひます。

介護老人保健施設しおかわ福寿の里 藤波 靖 幸

# 各部 活動報告

## 社会局発 **FILE**1 スポーツ理学療法部部内研修会報告

第38回スポーツ理学療法勉強会に先立ち、12月13日(土)に、亀尾 徹先生(新潟医療福祉大学 准教授/元 アルビレックス新潟フィジオセラピスト)をお迎えし、スポーツ理学療法部の部内研修会が行われました。研修会は、部員が現在関わっている各団体・チームの難渋症例について、亀尾先生からアドバイスをいただくという形で進められました。

私がまず驚かされたのは亀尾先生の質問力でした。私たちが選手を評価した中で不鮮明な部分を、様々な角度からの質問を通して引き出して頂きました。それにより、症例選手がどのような状態にあるのかを参加者が具体的にイメージできるようになりました。

次に、亀尾先生が質問で得た内容を分析し、ストーリーとして組み立て治療まで結び付けていくことに驚かされました。先生の説明を聞いていると、まるで選手が目の前にいるかのようでした。臨床ではつい診断名ありきで治療を行ってしまうことが多いのですが、目の前にいる患者様を一から評価し、症状・疾患についてストーリーを組み立てるといえるのは、私たち理学療法士にとって大切な事だと分かりました。少人数での症例検討会でしたが、亀尾先生からの質問も多く、気軽に質疑応答が出来る環境でした。今回の研修会から「共に考える」ということの大切さ、問診から得られるもの、評価・治療の展開などを実感することが出来ました。臨床で応用できる多くのことを教えて頂いた滅多にない贅沢な時間であったと思います。

県立中央病院 諏訪 さち子

## **FILE**2 第38回スポーツ理学療法勉強会レポート

第38回スポーツ理学療法勉強会が、去る12月14日(日)に山梨大学医学部大講堂にて亀尾 徹先生(敬省略)をお招きし、『体幹の安定性トレーニング』をテーマに開催されました。当日は、理学療法士をはじめ、学校教員・学生・スポーツ指導員など146人の参加があり、会場を埋め尽くしていました。

講演では、筋・骨・中枢神経系の関連とメカニズムについてや体幹の安定性がパフォーマンス向上にいかに関与するかを、解かり易くかつ面白くお話して下さり、スポーツ選手に携わる中での効果的な指導を提供できる知識を学ぶことが出来ました。

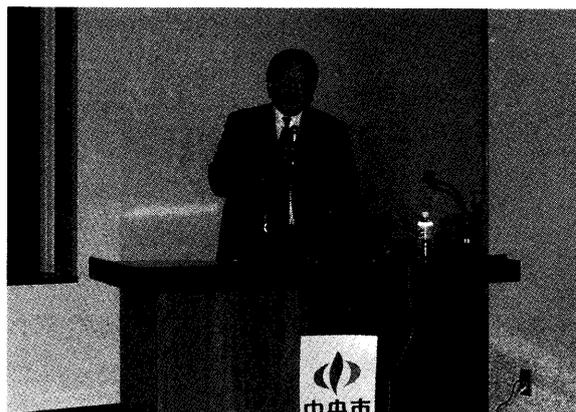
当病院では、膝スポーツ疾患センターを2007年6月より立ち上げ、関節鏡下における手術を年間約400件行っております。対象者は、バレー・バスケ・ハンド・ラグビー・サッカー等のスポーツ外傷で、競技復帰を目指す方々が大半を占めています。彼らの Medical Rehabilitation を進める上で、再受傷を防ぐための身体づくりも重要となりますが、実際のスポーツの場面で、再受傷を起ささないための指導法は「何に着目していくか」を考えると中々難しいもので、実践経験のある先生の講演を聴講できた事は、本当に貴重な経験となりました。

また機会があれば、このような講演会に参加したいと思います。亀尾先生、お忙しい中ありがとうございました。

独立行政法人国立病院機構 甲府病院 嶋根 香代子

平成21年1月22日、第39回スポーツ理学療法勉強会が玉穂生涯学習館で75名の参加者のもと行われました。今回は、山梨大学医学部整形外科学教室准教授の杉山肇先生に「スポーツに関連する股関節疾患（股関節鏡視下所見を中心に）」というテーマで、股関節鏡視下所見など多くの事例を交え、股関節の症状や症候について分かりやすく丁寧にご講演いただきました。

中でも、弾発股にはいくつかの原因があり、関節内型では外傷よりも over use による関節唇断裂が圧倒的に多いということ。また、股関節鏡視下では低侵襲な検査や手術が可能だけでなく、詳細に関節内の状態を知ることができるため、臨床ではまだ明らかでない疾患の病態解明にも役立つことなどのお話が印象に残りました。



日頃、私が病院やスポーツの現場で関わる中にも股関節の問題を抱えている方が多いので、注意深く詳細に症状を判別する必要性を改めて考えさせられ、非常に有意義な講演でした。

独立行政法人国立病院機構 甲府病院 田浦美由紀

独立行政法人国立病院機構 甲府病院 田浦美由紀

## 甲府国際オープンテニス スポーツ理学療法見学会のご案内

甲府国際オープンテニス大会におけるスポーツ理学療法部のオフィシャル・トレーナーとしての活動を現場見学してみませんか？

部員が説明しながらご案内しますので、現場での活動や大会の雰囲気を感じてください。

先着20名程度に限らせていただきますが、まだ若干のゆとりがありますので、ご希望の方は電話またはメールでお早めにご連絡ください。

◆日時：H21年3月28日(土) 9:30～ 山梨学院横根テニス場

◆問い合わせ先：山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部 小尾伸二

Tel 055-273-9805 E-メール [sobi@yamanashi.ac.jp](mailto:sobi@yamanashi.ac.jp)



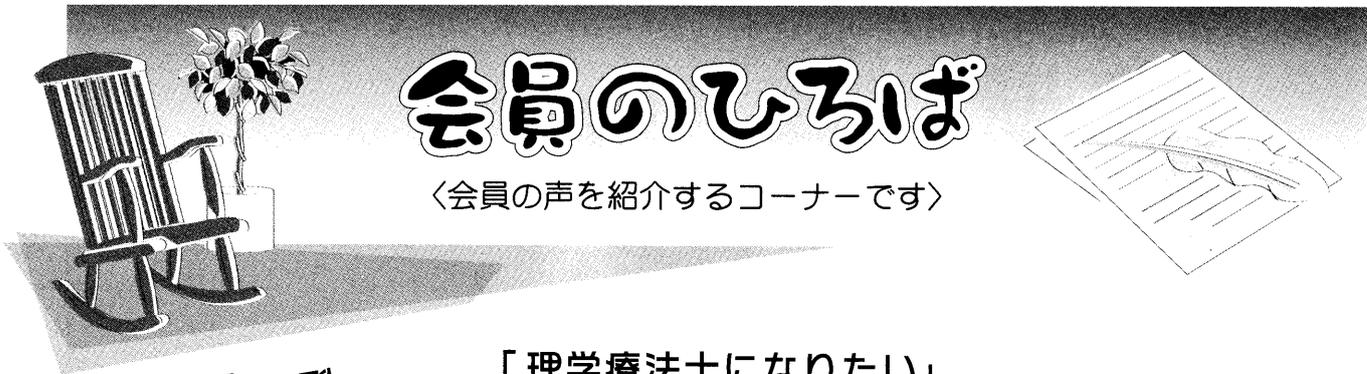
### ✂お知らせ✂

第4回学術研修会、第9回地域理学療法研修会の内容につきましては、次号にてご報告いたします。

# 平成20年度 山梨県理学療法士会活動報告 !!

時期	テーマ	各部
4月 11日	山梨県理学療法士会総会	
5月 29日	介護講座「自立を促すリハビリテーション」	委託事業部
6月 6日	山梨県理学療法士会交流会開催	総務部
8日	第1回学術研修会開催 「PNFについて」	学術研修部
12・19日	新人教育プログラムⅠ-1.Ⅰ-2.Ⅰ-4.Ⅰ-6.	生涯学習部
16~22日	須玉女子オープンテニス大会 メディカルチェック	スポーツPT部
27日	会報誌 supporters No.118 発行	会報部
7月15~21日	全国高校野球選手権大会・山梨大会 メディカルチェック	スポーツPT部
8月 19日	地域リハビリ従事者研修事業参加	委託事業部
9月 21日	第2回学術研修会開催 「マニュアルセラピー ~膝関節の評価と治療」	学術研修部
22日	「リスク管理」研修会	企画研修部
27日	いきいき山梨ねんりんピック 2008 参加	広報部
10月 1日	会報誌 supporters No.119 発行	会報部
5日	公開講座「賢い患者になりましょう」開催	公開講座部
11月 7・8日	臨床実習指導者研修会（山梨）	企画研修部
15・16日	全国都道府県理学療法士会法人化推進会議 並びに公益事業推進リーダー研修会 参加	法人化実行委員会
19日	特別研修会「今」 ～半田一登日本理学療法士協会会長講演～	
27日	診療・介護報酬制度に関する基礎的勉強会	介護保険部
30日	第3回学術研修会開催 「理学療法士に必要な歩行の神経生理学」	学術研修部
12月 3・10日	新人教育プログラムⅡ-6.Ⅱ-2.Ⅱ-3.Ⅱ-4.	生涯学習部
7日	第12回山梨県理学療法士会学術集会開催 特別講演「前頭葉障害のリハビリテーション」	学術集会部
14日	第38回スポーツ理学療法研修会開催 「体幹のトレーニング」	スポーツPT部
1月21・28日	新人教育プログラムⅢ-4.Ⅲ-3.Ⅲ-1.	生涯学習部
22日	第39回スポーツ理学療法研修会開催 「スポーツに関連する股関節疾患（股関節鏡を中心に）」	スポーツPT部

※原稿締め切りが1月末日にて、平成21年1月末日現在までの報告となっています。



# 会員のひろば

〈会員の声を紹介するコーナーです〉

## Letter

### 「理学療法士になりたい」

甲州リハビリテーション病院 磯野 賢

私が理学療法士になったのは、今は毎日のように目にする「リハビリ」という活字が年に何度か新聞に登場するようになったころだと思う。それを考えれば、リハビリテーションという言葉や理学療法士という言葉の知名度ははるかに上がっている。しかし、本当の意味で理解されているかは疑問である。

私は常々、理学療法ができる理学療法士になりたいと思っている。では、理学療法とはなんだろうか。心か技術か。理学療法士が行っていることが理学療法か。何か違う気がする。職域が広がり、理学療法士に求められるもの、役割が変化する中、それを規定するのは非常に難しいことであると思う。それでも、私は、理学療法ができる理学療法士になりたい。

理学療法士は素晴らしい仕事だと思う。何が、どこがではなく私にとっては素晴らしい。だから、20年後もしっかり存在してほしいし、50年後も、100年後も。100年後の理学療法士がどんな理学療法をしているのかちょっと興味が沸く。

この業界、よくあるのが、良くなったのは私の所為、良くならないのはあなたの所為と取れるような発言を耳にする。とても悲しい気持ちになる。そんなところに職業人としてのプライドは存在しない。妥協やあきらめは、年をとればいやでも上手になるもの。今はそんなものを近づけないでほしい。「しっかりと前を向いて」「目を見開いて」

とはいうものの、私はそんなにまじめではない。明らかに違う。お酒も少々いただき、勉強が好きな方(昔からばかと言われ続けている)でもなく、だから、パチンコ(今年は意外と調子がいい、早くエヴァの新作を打ちたい)の方が大切な時もある。

だからこそ、それだからこそ……。

「われは まだ若く 悩み多き年頃なりて 道を求めんと ただ歩むものなり」

この仕事から身を引く時に理学療法士になることができましたと言ってみたいものである。

### 『山梨高次脳機能障害リハビリテーション講習会に参加して』

湯村温泉病院 原 啓太

去る平成19年8月、当院言語聴覚士主導のもと「山梨高次脳機能障害リハビリテーション講習会」を立ち上げることになりました。この試みには、一医療従事者として「高次脳機能障害」の理解を広めようと、大いに賛同することができました。少しでも「高次脳機能障害を持った方」に対する支援体制が整えば……と思い、理学療法士として可能な限りの協力をしたいと申し出ました。

山梨県は全国の中でも、高次脳機能障害を持った方に対する支援体制が遅れています。全国的には、障害を有する当事者で構成される当事者会、その当事者のご家族で構成される家

族会というものが存在します。初めて本県で講習会が開かれた頃には、当事者会や家族会はありませんでした。その後、平成19年内に2回、そして平成20年6月、11月と計4回の「山梨高次脳機能障害リハビリテーション講習会」が開かれ、実行委員として参加をさせていただきました。講習会には医療従事者のみならず、一般の方からも多くの参加があり、高次脳機能障害に関する講習、当事者やご家族の体験発表、県内外の医師を招いてのディスカッション等を企画しました。これまで私は理学療法士として、様々な方と関わりを持ってきましたが、当事者やご家族の体験発表には考えさせられる事が多くありました。当事者や家族の困難、困惑を目の当たりにし、あらためて山梨県の支援体制の遅れを痛感しました。

しかし、これらの取り組みの甲斐もあって平成19年12月には山梨県にも家族会「甲斐路」が設立されるに至りました。これは遅れている支援体制を整える為の大きな第一歩になると思っています。これからも家族会「甲斐路」の皆様、そして「山梨県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会」が活動を継続する事により支援体制の改善に向けて、一石を投じる事ができると考えています。当事者が積極的に社会参加できるような支援体制が整え

られるよう、これからも出来る限りの協力を続けようと思っています。



お知らせ

## 変更届を忘れずに!!!

年度末に当たり、異動の多い時期に入りました。各種届出につきましては、ホームページに詳細が掲載されています。ご確認いただき、早急に変更届出等を提出してください。

届出の不備がありますと、協会・士会よりの連絡・発送物が届きません。

- 異動（勤務先変更・自宅住所変更・改姓・転出入等）が生じた場合は、速やかに事務局へ異動届をご提出ください。
- 各種届出用紙（異動・休会・復会・退会）は協会HP及び士会HPにてダウンロードできます。総会並びに代議員資料（黄色の表紙）にも掲載されています。
- 県外異動については、異動前及び異動後の各都道府県士会事務局へ提出ください。
- 提出時には捺印のご確認をお願いします。（捺印がない場合、処理致しかねます）

ご不明な点につきましては、下記問い合わせ先にご確認下さい。

- 問い合わせ先：事務管理局 斉藤（石和温泉病院理学療法室内 TEL 055-263-0111）

# リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので800字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員の広場」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

## Part 3-1

介護老人保健施設 山中湖あんずの森 奥脇瑠美 先生

今回三浦先生からバトンを受け、執筆させていただきます『介護老人保健施設 山中湖あんずの森』の奥脇瑠美です。当施設はPT 2名(常勤1名・非常勤1名)・OT 1名が在籍しており、入所・デイケアのリハビリを実施しています。

お電話を頂いて何を書こうかと考えていたところ、ちょうど『最近では冬なのに暖かいね』と皆で話をしていたため、今回は山中湖の冬事情とエコについて少しだけお話させていただきます。

施設名の中に『山中湖』と入っているのでお分かりでしょうが、当施設の場所は山中湖村と忍野村の境に位置しています。標高が約1000mあり、周りは森に囲まれているため、夏は涼しく・冬は極寒です。毎年寒い時期には-15度程度まで気温が下がり、山中湖の湖水は凍り、雪も多く降るところです。しかし今年の冬はまだ雪がほとんど降らず、道路や湖水も凍らないので楽でいいな、などと思っています。しかし、寒い時期に寒くならない・雪が降る時期に降らないとなると、もしや温暖化の影響なのでは?と心配にもなります。

50年ほど前の冬は今より更に寒く、山中湖には厚さ50～60cm程度の氷が湖水全体を覆っていました。その氷の上をトラック等が通行し、また氷上でスケートやわかさぎ釣りをして遊んだそうです。15年ほど前から山中湖の湖水は凍らなくなったようですが、凍らなくなったのは山中湖だけではなく北極の氷も溶け続けていて、北海道に流れてくる流氷もいつか見られなくなると聞き、地球温暖化が進んでいることを少しずつ実感しているところです。自分で出来るエコはなんだろうと考え、少し調べてみたのでいくつかご紹介します。

1. エアコンの設定温度をチェック! 夏は28℃・冬は20℃が良いです。
2. 使わない照明は消し、なるべく電球型蛍光灯をとりつけると望ましいです。
3. NOTアイドリング! 無駄な排ガスを発生させないことです。

他にも色々身近に行えることがあるはずですよ。みなさんも機会があれば是非実施してみてください。

次回紹介者は『笛吹中央病院の宮下祐輔先生』です。宜しくお願いします。

## Part 3-2

### 「私の仕事場」

北杜市立塩川病院 長田礼子先生

今回、学生時代に実習でお世話になった、りほく病院の上田先生から電話があり、「次のリレーエッセイ引き受けてくれないかな？」と言われ、よく分からないまま二つ返事で「いいですよ！」と答えてしまったことを少しだけ後悔している文章が苦手な北杜市立塩川病院の長田です。

早いもので、社会人になってあと少しで一年です。上司の先生方や先輩の先生方に指導して頂き、夢中で過ぎた一年でした。

さて皆さん、私が働く北杜市立塩川病院の紹介と病院のある地域の紹介をしたいと思います。

旧須玉町にあります塩川病院の良いところは、なんといっても恵まれた環境にあることです。静かな環境で、春には駐車場に桜が満開に咲き、周りには自然がいっぱいです。そのため、テレビドラマの撮影にも何度か使われたほどで、患者様にも好評です。

自然多き環境の中で働くリハ室のスタッフは5人と少人数です。仕事は大変ですが、少人数ゆえにコミュニケーションが取れていて、緊張感の中にも楽しく仕事が出来るところが私は最高に気に入っています。

また、最近上司と患者様の自宅へ訪問に行ったのですが、その途中、雪をかぶった山の景色が最高に綺麗で感動しました。四季折々の景色を見ながら訪問ができ、とても幸せだと思います。

あと少しで社会人二年目になりますが、まだまだ上司や先輩の先生方からご指導を頂く毎日です。初心を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

次回紹介者は『白根徳州会病院の杉原大輔先生』です。

## 原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えています。

テーマは自由です。ご投稿、お待ちしております。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

●次回 (No. 122 6月下旬発行) 締め切りは、5月下旬です。

問い合わせ先 広報局 会報部 清水真治 (石和温泉病院 理学療法室内 TEL 055-263-0111)  
E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

## 編集後記



今年度から「リレーエッセイ」を始め、いろいろな年代の先生方から面白い話題がときどき、いつも楽しみに読んでいます。皆様、今回の「リレーエッセイ」はいかがでしょう。

早いもので、会報部に所属し2年が経過しました。諸先輩方や県士会に関わる方々との交流が、私の視野や世界を大きく変えたと感じております。今年も1年がまた始まり、新たな気持ちで新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。『yes we can!!』

(清水 真治)

TVで長嶋茂雄さんの活躍を見ていると1つの本を思い出します。『G-FILE 長嶋茂雄と黒衣の参謀』、読んで見て下さい。

今年度の supporters では「リレーエッセイ」という企画をはじめましたが、執筆されている先生、また、読まれている士会員の皆さんの感想はいかがでしょう？ 来年度も皆様に楽しく読んでいただける会報紙を目指していきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお祈りいたします。ご愛読ありがとうございました。



(小田川 舞)



早いもので今年度も最終号の発行となりました。今年度から新たに会報部員に加えていただき(笑)、ようやく仕事にも慣れたかなというのが正直なところです。今まで客観視していたサポーターズも、実際に関わると、作り上げる面白さの半面、正直大変だなと思いました。皆様には大変ご迷惑をおかけしたかと思っております。来年度も新しい企画など、皆様との『Interaction』を大切にしていきたいと思っております。

最後に、皆様のご協力があるサポーターズですので、来年度も変わらず、ご理解・ご協力の程、よろしくお祈りいたします。

(土橋 豊)

● 発行 ● 山梨県理学療法士会

● 代表 ● 谷村 英四郎

● 企画・校正 ● 清水 文彦 清水 真治 小田川 舞 土橋 豊

● 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ

● 会報部 ● 〒400-0026 山梨県笛吹市石和町八田 330-5

石和温泉病院 理学療法室内

Tel 055-263-0111 Fax 055-263-2118 E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp